## Autodesk<sup>®</sup> Media & Entertainment 製品

Autodesk<sup>.</sup>

## ネットワーク管理者用ガイド

#### Legal Notices

© 2012 Autodesk, Inc. All Rights Reserved. Except as otherwise permitted by Autodesk, Inc., this publication, or parts thereof, may not be reproduced in any form, by any method, for any purpose.

Certain materials included in this publication are reprinted with the permission of the copyright holder.

#### Trademarks

The following are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and other countries: 123D, 3ds Max, Algor, Alias, Alias (swirl design/logo), AliasStudio, ATC, AUGI, AutoCAD, AutoCAD Learning Assistance, AutoCAD LT, AutoCAD Simulator, AutoCAD SQL Extension, AutoCAD SQL Interface, Autodesk, Autodesk Homestyler, Autodesk Intent, Autodesk Inventor, Autodesk MapGuide, Autodesk Streamline, AutoLISP, AutoSketch, AutoSnap, AutoTrack, Backburner, Backdraft, Beast, Beast (design/logo) Built with ObjectARX (design/logo), Burn, Buzzsaw, CAiCE, CFdesign, Civil 3D, Cleaner, Cleaner Central, ClearScale, Colour Warper, Combustion, Communication Specification, Constructware, Content Explorer, Creative Bridge, Dancing Baby (image), DesignCenter, Design Doctor, Designer's Toolkit, DesignKids, DesignProf, DesignServer, DesignStudio, Design Web Format, Discreet, DWF, DWG, DWG (design/logo), DWG Extreme, DWG TrueConvert, DWG TrueView, DWFX, DXF, Ecotect, Evolver, Exposure, Extending the Design Team, Face Robot, FBX, Fempro, Fire, Flame, Flare, Flint, FMDesktop, Freewheel, GDX Driver, Green Building Studio, Heads-up Design, Heidi, Homestyler, HumanIK, IDEA Server, i-drop, Illuminate Labs AB (design/logo), ImageModeler, iMOUT, Incinerator, Inferno, Instructables, Instructables (stylized robot design/logo), Inventor, Inventor LT, Kynapse, Kynogon, LandXplorer, LiguidLight, LiguidLight (design/logo), Lustre, MatchMover, Maya, Mechanical Desktop, Moldflow, Moldflow Plastics Advisers, Moldflow Plastics Insight, Moldflow Plastics Xpert, Moondust, MotionBuilder, Movimento, MPA, MPA (design/logo), MPI, MPI (design/logo), MPX, MPX (design/logo), Mudbox, Multi-Master Editing, Navisworks, ObjectARX, ObjectDBX, Opticore, Pipeplus, Pixlr, Pixlr-o-matic, PolarSnap, PortfolioWall, Powered with Autodesk Technology, Productstream, ProMaterials, RasterDWG, RealDWG, Real-time Roto, Recognize, Render Queue, Retimer, Reveal, Revit, RiverCAD, Robot, Scaleform, Scaleform GFx, Showcase, Show Me, ShowMotion, SketchBook, Smoke, Softimage, Softimage|XSI (design/logo), Sparks, SteeringWheels, Stitcher, Stone, StormNET, Tinkerbox, ToolClip, Topobase, Toxik, TrustedDWG, U-Vis, ViewCube, Visual, Visual LISP, Voice Reality, Volo, Vtour, WaterNetworks, Wire, Wiretap, WiretapCentral, XSI.

All other brand names, product names or trademarks belong to their respective holders.

#### Disclaimer

THIS PUBLICATION AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN IS MADE AVAILABLE BY AUTODESK, INC. "AS IS." AUTODESK, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE REGARDING THESE MATERIALS.

## 目次

第1章	ネットワーク管理と配置1
	ネットワーク管理と配置1
	概要 - 配置
	配置を計画する
	配置の準備作業を確認する
	インストレーションの種類を決定する4
	ライセンス サーバ モデルを決定する...........5
	個々の製品を環境設定する
	Service Pack を含める
	ネットワーク共有を作成する
	配置を作成する9
	新しい配置を作成する
	配置を修正する11
	ユーザに管理イメージを通知する
第2章	代替配布法
	代替配布法
	配置方法の概要
	プログラムの配置にバッチ ファイルを使用する
	サンプル インストレーション バッチ ファイル・・・・・・14
	バッチ ファイルを実行する

	グループ ポリシーを使用して配置を実行する	17
	クルーノ ホリンーを使用してコンヒュータに配直を割り当	10
	しる	. 10
	クルーノ ホリンー配直を確認する Microsoft SCCM を使用して制品を配置する	· · 22 22
	Microsoft SCCM を使用して表面を配置する SCCM のソース フォルダをセットアップする	· · 22 23
	SCCM リフトウェア配右パッケージを作成する	· · 23 24
	ディスク イメージ作成ソフトウェアを使用して製品を配布す	21
	a	.26
	マルチシート スタンドアロン製品を配布する	27
	ネットワーク ライセンス製品を配布する	28
	マスター イメージを復元する	28
	マスター コンピュータをクリーンアップしてオペレーティ	
	ング システムを復元する	29
笛っ音	インストールのトラブルシューティング	24
おう早	1/21-1/01-1/1/01-1/1/01-1-1/1/01-1-1-1	. 31
	インストールに関する質問	31
		31
	スタンドアロン フイセンスとネットワーク フイセンスの遅	2.1
	いは何じりか?	31
	イットワーク フイセンス ハーンヨンのソフトワエアを使用	20
	9 S X U ツトは凹 C 9 か?	32 22
	SAMIlepolt-Life とは何てタが	34 22
	配直C不ツ下ソークの疑问	34 22
	記世はここに俗約940はようしいてりが? 答理イメニジル対して どの時占ですべての制日を選切す	52
	自生了人、シに対して、この時点ですべての表面を選択す れば上いですか? また 後で制具を追加できますか?	
	$\frac{3}{3}$	
	ューザのコンピュータの設定に関連付けられるプロファイ	
	ルとは何ですか?	33
	Service Pack を追加したり合成するとどうなりますか?	34
	Service Pack が自分のソフトウェアで利用できるかどうか	
	を確認するにはどうしたらよろしいですか?	34
	MSP ファイルはどうやって解凍するのですか?	34
	ファイアウォールに対して、ネットワークの ライセンスを	
	どのように環境設定すればよろしいですか?	35
	アンインストールとメンテナンスの疑問	35
	どうすれば、既定のインストレーションの内容を確認でき	
	ますか?	35
	機能を追加または削除するときに、インストレーション	
	フォルダを変更できますか?	35

	索引
第4章	用語集
	どのようなファイルが残りますか?
	か?
	製品を再インストールする場合、製品メディアは必要です
	製品を修復するのではなく再インストールするのはとんな ときですか2 36
	ティリティをインストールできますか
	どうすれば、製品をインストールした後に、ツールとユー

## ネットワーク管理と配置

## ネットワーク管理と配置

#### 概要 - 配置

配置は、複数のコンピュータに1つまたは複数のオートデスク製品を標準の環境 設定でインストールする有効な手段を提供します。インストレーションプロセス に必要なファイルが、ネットワーク上のすべてのユーザが共有アクセスできるフォ ルダ内の管理イメージに格納されます。製品をインストールするには、ユーザは 配置フォルダに移動し、インストーラのショートカット(.LNK ファイル)をダブル クリックします。

**注:** このガイドで説明するインストーラは、Windows オペレーティング システム にのみ該当します。ただし、いくつかの概念と手順は、Linux または Mac OS X ネットワーク上のオートデスク製品の管理者にとっても有用です。

配置に関するいくつかの基本的な事項を次に示します。

- 配置は、ネットワーク ライセンスまたはマルチシート スタンドアロン ライセンス用に作成できます。
- 同じフォルダに異なる環境設定の複数の配置を置くことができ、これらの配置 は同じ管理イメージ(インストレーションファイルのセット)を共有できます。
- 各配置は、1つの言語で製品をインストールします。別の言語で製品をインストールする必要がある場合は、言語ごとに別の配置が必要になります。
- 異なる環境設定で別の配置を作成する場合、既存の配置に基づいて作成できます。

- 配置は、各インストレーションのログファイルを作成するように環境設定できます。ネットワーク管理者は、問題解決のためにこれらのログファイルを使用できます。
- 各配置はサブフォルダ<deployment name>¥SMS\_SCCM scripts を作成し ます。このサブフォルダには、Microsoft Systems Management Server(SMS) および System Center Configuration Manager(SCCM)を使用して配置を配 布する際に役立つ2つのドキュメント SMS\_SCCM\_ReadMe.txt および <deployment name> SCCM.txt が含まれています。

#### 言語パックを配置する

AutoCAD ベースの製品、Inventor、3ds Max は、別個の言語パックを使用し て、1つまたは複数の追加の言語バージョンをインストール済みの製品に追加で きます。各言語パックは、特定の言語のユーザインタフェース文字列、メッセー ジテキスト、ドキュメントを提供します。製品ソフトウェアはコピーしません。 オートデスク製品の複数のインスタンスに特定の言語バージョンを配布する場 合、各言語パックに同梱されているインストーラを使用して、言語パックの配置 を作成できます。複数の言語または複数の製品の言語パックを配置する必要があ る場合は、バッチ ファイルを作成して、一連の言語パックを各コンピュータに インストールできます。

## 配置を計画する

#### 配置の準備作業を確認する

このチェックリストには、ネットワーク配置を作成する前に完了しておく準備作 業や、収集する情報、決めておくべき事項を記載しています。

#### 2|第1章 ネットワーク管理と配置

**ヒント:**製品の環境設定の詳細など配置設定を確認する場合は、テスト用の配置 を作成できます。配置の作成プロセスを習得した後は、テスト用の配置を削除で きます。

配置のチェックリスト

- インストーラで[動作環境]リンクをクリックして、動作環境を確認します。ネットワーク、サーバ、クライアントコンピュータがこれらの動作環境を満たしていることを確認します。
- 購入したライセンスの種類の一般的なインストール手順を理解します。ネット ワークライセンスの配置では、ライセンスサーバ名と、ライセンス購入時に指 定されたライセンスサーバモデルの種類を知っておく必要があります。詳細 は、「ライセンスサーバモデルを決定する(5ページ)」を参照してください。
- ネットワーク管理者ツールおよびユーティリティをインストールし、アクティ ブにします。たとえば、ネットワークライセンスを使用する場合は、インス トーラから Network License Manager をインストールします。
- 製品のシリアル番号とプロダクトキーを確認します。これらは、製品パッケージの外側に記載されているか、オートデスクから製品をダウンロードまたはアップグレードした場合は電子メールに記載されています。
  - 】 配置を格納するネットワークの場所を決め、配置を格納する共有フォルダを作 成します。
    - 製品に言語オプションがある場合は、各配置に使用する言語を決定します。

**注:** 言語は、最初に配置を作成するときや、新しい配置環境設定を作成すると きに含めることはできますが、配置の修正時に含めることはできません。

■ 個々のコンピュータ、配置フォルダ、またはその両方にログファイルを作成す るかどうかを決定します。

サイレント モードでインストールを実行するかどうかを決定します。

**注:** サイレント モードで製品をインストールすると、インストール完了時に警告が表示されずにユーザのシステムが自動的に再起動します。

#### ネットワーク管理と配置 |3

配置のチェックリスト

定義された検索パス、サポートファイルの場所、Service Pack を自動的にイン ストールするかどうかなど、適用可能なその他の環境設定を確認します。

#### インストレーションの種類を決定する

配置をセットアップするときに、適用先のプラットフォームごとにインストレー ションの種類と、ライセンスの種類を選択する必要があります。

#### 適用先のプラットフォーム

配置を使用するコンピュータのオペレーティング システムに応じて、32 ビット または64 ビットプラットフォームを指定します。オートデスク製品の中には、 64 ビットのオペレーティング システム上に 32 ビット バージョンをインストー ルできるものもあります。詳細は、各製品のドキュメントを参照してください。

#### ライセンスの種類

購入したライセンスの種類に基づいて、インストーラで次の種類のライセンスの いずれかを指定します。

ネットワーク ライセンス このタイプのライセンスでは、製品が1台または複数 台のサーバの Network License Manager (NLM)と通信するうえで必要となるファ イルおよびレジストリ エントリとともに、製品をネットワーク上のコンピュー タにインストールします。NLM の環境設定も定義します。クライアント コン ピュータでオートデスク製品を起動すると、NLM にライセンスを要求し、製品 を停止するとライセンスを返却します。ネットワーク インストレーションで製 品を実行するコンピュータは、個別にアクティベーションを行う必要はありませ ん。詳細は、「ライセンス サーバ モデルを決定する (5ページ)」を参照してく ださい。

ネットワーク ライセンスの主な利点は、購入したライセンス数以上のシステム に製品をインストールできることです(たとえば、25のライセンスを購入し、40 台のコンピュータにインストールできます)。製品は、購入したライセンス数分 のコンピュータで同時に実行できるため、本格的なフローティング ライセンス として使用できます。

#### 4|第1章 ネットワーク管理と配置

スタンドアロン ライセンス このタイプのライセンスは、1 つのシリアル番号と プロダクト キーを使用して複数台のコンピュータに製品をインストールするマ ルチシート スタンドアロン インストレーションで使用します。このタイプのラ イセンスでは、製品ライセンスの管理にNLMを使用しません。代わりに、イン ストレーション、登録、アクティベーションは各コンピュータ上で行います。一 度マルチシート スタンドアロンのシリアル番号とプロダクト キーを使用してア クティベーションを行うと、その後はこの配置を使用して、インターネットに接 続されているすべてのコンピュータで自動的にアクティベーションが行われま す。

#### ライセンス サーバ モデルを決定する

ネットワーク ライセンス オプションを選択する場合、製品ライセンスの配布に 使用されるライセンス サーバ モデルを知っておく必要があります。これは、ラ イセンスの購入時に次のいずれかとして指定されたものです。

- シングル ライセンス サーバ モデル: Network License Manager (NLM)が1 台のサーバにインストールされるため、ライセンスの管理と動作は、このサーバに制限されます。1つのライセンスファイルに、サーバ上の使用可能なライセンスの合計数が記録されます。
- 分散ライセンスサーバモデル: ライセンスは複数のサーバに分散されます。 サーバごとに、一意のライセンスファイルが必要になります。分散ライセン スサーバを構築するには、分散サーバプールの一部である各サーバ上で NLM を実行する必要があります。

これらの各ライセンス サーバモデルの詳細は、『ライセンス ガイド』に記載さ れています。製品を配置する前に、このガイドを読むことをお勧めします。『ラ イセンスガイド』を表示するには、インストーラの[インストレーション ヘルプ] リンクをクリックします。

#### 個々の製品を環境設定する

配置を作成するときに、インストールするために選択した製品の既定の設定をそ のまま使用することも、それらの設定を環境設定してカスタム配置を作成するこ ともできます。それぞれの製品の環境設定の詳細は、通常、このガイドの製品固 有の付録に掲載されています。これらの付録を確認し、配置で各製品に対する正 しい設定を決定することをお勧めします。

製品の設定を環境設定するには、インストーラの[配置を作成]ページで、インス トールする製品を選択していることを確認し、製品名をクリックします。環境設 定パネルが開きます。

**重要:** 選択した環境設定は、配置からインストールされる製品のすべてのインス タンスに適用されます。配置を作成した後は、配置を修正することによってのみ これらの設定を変更できます。詳細は、「配置を修正する(11ページ)」を参照 してください。

ほとんどの製品でインストレーションの種類を選択できます。最も一般的なオプ ションを選択する場合は[標準]を選択し、より詳細にオプションを検討する場合 は[カスタム]を選択します。

一般的な製品のその他の設定のいくつかを次に示します。

- 製品の動作に関するユーザ設定
- サポート ファイル(マテリアル ライブラリなど)のインストレーション
- オンライン リソースへのアクセス

製品またはスイート製品に固有の詳細情報を参照するには、[インストレーショ ン ヘルプ]をクリックしてください。

#### Service Pack を含める

ほとんどの製品には、配置に Service Pack を含めるオプションが用意されてい ます。オートデスクの Web サイト から Service Pack をダウンロードしたり、 ローカルハードドライブまたはネットワーク上の場所に保管されている Service Pack を使用することができます。 どちらの場合も、Service Pack は、メイン製 品のインストレーションが完了した後にのみ適用されます。

#### 6|第1章 ネットワーク管理と配置

[*Autodesk.com* にある Service Pack を含める]ボタンを選択すると、Service Pack は自動的にダウンロードされます。MSP ファイルを展開する必要はありません。

Service Pack がローカルに保管されている場合にのみ、配置に複数の Service Pack を追加することができます。*autodesk.com* からダウンロードする場合、それはできません。

注: メイン製品の配置処理がキャンセルされたり失敗した場合、Service Packの インストレーションは、自動的にキャンセルされます。

配置に Service Pack を含めるときに使用可能なオプションは、次の2つです。

- [Service Pack をこの配置に追加する]: Service Pack を追加すると、Service Pack は現在の配置にのみ適用されます。複数の Service Pack を1つの配置 に追加できます。Service Pack ファイルは配置に含まれており、製品が配置 されてから適用されます。
- [Service Pack を管理イメージの MSI ファイルに合成する]: このオプション を使用すると、Service Pack は管理イメージに合成されます。いったん合成 すると、Service Pack を管理イメージから除去できなくなります。

#### Service Pack から Microsoft Installer Patch (MSP)ファイルを解凍するには

- 1 ご使用の製品のサポートサイトから Service Pack をダウンロードします。
- Service Packの*Readme*ファイルを読んで、パッチの使用に関する注意を 確認します。
- 3 Windows のコマンド プロンプトを開き、パッチ ファイル名、/e スイッチ、ターゲットファイル名を入力します。次に一般的なコマンド形式を示します。

<ローカル\_ドライブ:>¥<パッチ名>.exe /e <ローカル\_ドライブ:>¥<パッチ名 >.msp

次に例を示します。

ProductSP1.exe /e ./ProductSP1.msp

ここで、*ProductSP1.exe* はダウンロードしたパッチ ファイルの名前で す。*ProductSP1.msp*は解凍されるファイルの名前です。解凍されるファ イル名の前に "./" を付けることによって、ダウンロードした自己解凍形式 のパッチ ファイルと同じフォルダに解凍されます。"e" コマンド ラインス イッチは、実行形式から MSP ファイルを解凍します。

#### ネットワーク管理と配置 |7

#### Service Pack を配置に含めるには

Service Pack を配置に含めるには、ダウンロードした Service Pack ファイルから MSP ファイルを展開する必要があります。

- 1 [Service Pack]領域で、[追加]ボタンをクリックします。
- [ファイルを開く]ダイアログボックスで、配置に含める Service Pack を検索します。
- 3 MSP ファイルを選択して[開く]をクリックします。
- 4 Service Pack を配置に追加するか、Service Pack を管理イメージに合成す るかを指定します。
- 5 [次へ]をクリックします。

### ネットワーク共有を作成する

配置を作成する準備が完全に整ったら、ネットワーク上の共有の場所からオート デスク製品のセットアップと配布の準備を行います。ネットワーク共有は、すべ てのユーザのコンピュータがアクセスできるインストール用のフォルダです。 ネットワーク共有に配置を作成し、プログラムのインストール用として、ユーザ にこの場所を知らせます。ネットワーク共有フォルダ内のサブフォルダは、すべ て自動的に共有フォルダになります。

ネットワーク ログ ファイルを作成するオプションを選択した場合、ユーザのコ ンピュータはインストール中にネットワーク共有内のログ ファイルに項目を書 き出します。そのため、このオプションを選択した場合、ユーザがネットワーク 共有に読み書きアクセスできるようにする必要があります。

配置作成プロセス中に、ネットワーク共有に配置フォルダを作成できます。同じ 製品またはスイート製品の複数の配置を作成し、異なるユーザグループ用に環 境設定する場合、これらの配置は同じ管理イメージを共有でき、ショートカット は同じフォルダに置くことができます。ただし、別の製品またはスイート製品の 配置を作成する場合は、ネットワーク共有に別々の製品フォルダを作成してか ら、配置の作成を開始することをお勧めします。

ネットワーク共有の作成方法については、ご使用のオペレーティング システム のドキュメントを参照してください。

#### 8|第1章 ネットワーク管理と配置

## 配置を作成する

#### 新しい配置を作成する

インストーラから新しい配置を作成するには、次に示す手順を使用します。この プロセスでは、インストールされる各製品の既定の環境設定を受け入れて**既定の** 配置を作成したり、配置内の1つまたは複数の製品の環境設定をカスタマイズ して**カスタム配置**を作成できます。

#### 新しい配置を作成するには

- 1 コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて閉じます。
- 2 インストーラを起動します。
- 3 最初のページで言語を選択できる場合は、配置プロセスで使用する言語を 選択し、[配置を作成]をクリックします。
- 4 [配置を作成 > 環境設定<名前>]ページの[管理イメージ]領域で、次のデー タを指定します。
  - a ユーザ グループを識別する配置の名前、プラットフォーム、または 他の配置と区別するその他の属性を入力します。
  - b 管理イメージを作成して格納する共有ネットワークフォルダへのパスを入力するか、[参照]ボタンを使用して指定します。ユーザは、この場所からプログラムをインストールします。

**注:** ネットワーク共有を作成する方法については、「ネットワーク共 有を作成する (8 ページ)」を参照してください。

- c 適用先のオペレーティング システムが 32 ビットか 64 ビットかを選 択します。
- **d** この環境設定に必要な製品のみを含めるかどうかを指定します。
  - オンにすると、今後、配置を修正して追加の製品を含めることは できなくなります。
  - オフにすると、管理イメージにすべての製品を含めることができるようになるため、現在の配置を多少なりとも修正できるようになります。

#### ネットワーク管理と配置 |9

- 5 [インストール設定]領域で、次の1つまたは複数のオプションをオンにします。
  - サイレントモードはバックグラウンドでインストールが実行され、ユー ザに入力を要求しません。

**注:** サイレントモードでは、インストール後に警告を表示せずに、ユー ザのコンピュータを自動的に再起動できます。

- **各ワークステーションのログ ファイル**で、ユーザはインストレーショ ンを確認したり、問題を解決できるようになります。
- サーバの場所のネットワークログファイルで、ネットワーク管理者は すべてのインストレーションのデータを確認できるようになります。

**注:** ネットワーク ログ ファイルは、配置のユーザが読み書きアクセス できる共有フォルダに格納する必要があります。共有フォルダにない場 合、ユーザのインストレーションのログ データはログ ファイルに書き 出されません。

- 6 オートデスク ソフトウェア使用許諾契約を確認し、同意します。
- 7 [製品情報]ページで、ライセンスの種類を選択し、シリアル番号とプロダ クトキーを入力します。このデータが有効な場合、緑のチェックマークが 表示されます。
- 8 製品情報が正しいことを確認したら、[次へ]をクリックします。
- 9 [配置を作成] > [環境設定]で、配置に含める製品を選択します。
- 10 製品の環境設定が必要な場合は、製品名をクリックして環境設定パネルを 開くと、設定を確認したり変更することができます。

**重要:** 選択した環境設定は、配置からインストールされる製品のすべての インスタンスに適用されます。配置を作成した後は、配置を修正すること によってのみこれらの設定を変更できます。

環境設定の設定は、製品によって大きく異なります。詳細は、[インスト レーション ヘルプ]をクリックして製品のドキュメントを参照してくださ い。

- 11 [作成]をクリックして、配置を作成します。 配置が作成されると、[配置環境設定の完了]ページが開き、新しい配置への有効なパスと、製品をオンライン登録するためのリンクが表示されます。
- 12 この画面を使用し終わったら、[完了]をクリックします。

#### 10 | 第1章 ネットワーク管理と配置

#### 配置を修正する

各配置フォルダ内には[配置を作成または修正]というショートカット(.LNK ファ イル)を含む Tools フォルダがあります。このショートカットを使用して次のこ とが行えます。

- 新しい配置環境設定を作成する
- 既存の配置をテンプレートとして使用して新しい配置環境設定を作成する
- 既存の配置環境設定を修正する

新しい配置を作成するときと同様に、インストーラの各ページで、環境設定を行います。配置環境設定で、元の管理イメージが、必要な製品のみを含めるように 設定されている場合、配置の作成または修正が制限されます。特に、元の管理イ メージに含まれない製品を配置に追加することはできません。逆に、元の管理イ メージが、必要な製品のみを含めるように設定されていなければ、すべての製品 のファイルが元の管理イメージに含まれています。その結果、この配置を修正し たり、新しい配置環境設定を作成するときに、製品を追加できます。

#### 配置を修正するには

- 1 配置が格納されている共有ネットワーク フォルダを開きます。
- Toolsフォルダで、[配置を作成または修正]ショートカットをダブルクリックします。

インストーラの[配置を修正]ページが表示されます。

- 3 配置環境設定の各ページで、必要なオプションをクリックして選択します。
- 4 [作成]ボタンをクリックします。

#### ユーザに管理イメージを通知する

配置の作成を終了すると、ユーザは、管理イメージと一緒に配置フォルダに格納 されているショートカット(.LNKファイル)を使用して、プログラムをインストー ルできるようになります。ショートカットの名前は、配置の作成時に指定した配 置の名前と同じです。ユーザにショートカットの名前と場所を通知します。ショー トカットをダブルクリックしてインストレーションを開始するようユーザに指示 します。配置がサイレント モードを使用している場合、製品のインストール後 にユーザのコンピュータが自動的に再起動するので、インストール中は他のアプ リケーションを終了しておくようユーザに助言します。

#### ネットワーク管理と配置 | 11

## 代替配布法

# 2

## 代替配布法

## 配置方法の概要

標準の配置のほかに、次に示す別の方法を使用して Windows プラットフォーム 上にオートデスク プログラムを配布できます。

- スクリプト: 詳細は、「プログラムの配置にバッチ ファイルを使用する (13 ページ)」を参照してください。
- グループポリシーオブジェクト(GPOs):「グループポリシーを使用して配置 を実行する(17ページ)」を参照してください。
- Microsoft System Center Configuration Manager(SCCM): 詳細は、 「Microsoft SCCM を使用して製品を配置する (22 ページ)」を参照してくだ さい。
- ディスクイメージ作成ソフトウェア:「ディスクイメージ作成ソフトウェアを 使用して製品を配布する(26ページ)」を参照してください。

## プログラムの配置にバッチ ファイルを使用す る

バッチ ファイルは、1 セットのコマンドを実行します。インストレーション バッ チ ファイルは、ネットワークに接続されているコンピュータへのスタンドアロン またはネットワーク ライセンス プログラムのインストールに便利です。このよう なファイルは、Service Pack、Extensions、Object Enabler をネットワークにイ ンストールする場合にも便利です。

バッチ ファイルは、1 つまたは複数のコマンド、オプションを指定するコマン ド スイッチ、オプションを変更するフラグで構成されています。インストレー ション スクリプトにはパス名も含まれます。

インストレーション スクリプトは、製品の *setup.exe* ファイルの場所を指定し ます。必ず、インストレーション メディアまたはネットワーク上の場所の *setup.exe* を指定してください。

オートデスク製品を正しく実行するには、プログラムがインストールされるコン ピュータの管理者権限を持っている必要があります。

## サンプルインストレーションバッチファイル

このセクションのサンプルバッチファイルは、スタンドアロンまたはネットワー ク ライセンス バージョンの AutoCAD を標準設定でインストールします。この サンプル バッチ ファイルをコピーして、パーソナル情報に書き換えやすくする ために、変数には一貫して同じ名前が使用されています。

#### 注:

<mediaDriveLetter>は、メディアがセットされているまたは *setup.exe* ファイ ルが格納されているドライブを表す文字です。

ここで使用されるインストールオプションは、/t(セットアップはスクリプトに よって実行される)および/qb(標準的なユーザインタフェースを表示)などです。 その他は、Microsoft Msiexec コマンド ラインに対しては /w(非フェイタル警 告をログ)が定義され、MS TechNet Web サイトで文書化されるなどです。

<SerialPrefix>は、シリアル番号の最初の3桁です。

<SerialPostFix>は、シリアル番号の最後の8桁です。

<ProdKey> はプロダクト キーです。

<lang> は、IETF 言語タグです(例: 英語 - アメリカ合衆国の場合は en-US)。

<eula\_lang> は、国名の ISO 3166-1 alpha-2 標準です(例: アメリカ合衆国の場合は US)。

#### スタンドアロン ライセンス

<mediaDriveLetter>¥setup.exe /t /qb /language <lang> /c ACAD: INSTALLDIR="%programFiles%¥Autodesk¥AutoCAD 2013" ACADSERIALPREFIX=<SerialPrefix>ACADSERIALNUMBER=<SerialPostFix>

```
ADLM_PRODKEY=<ProdKey> ADLM_EULA_COUNTRY=<eula_lang> InstallLevel=5
```

Example:

```
C:¥setup.exe /t /qb /language en-us /c
ACAD: INSTALLDIR="%programFiles%¥Autodesk¥AutoCAD 2013"
ACADSERIALPREFIX=123 ACADSERIALNUMBER=12345678
ADLM PRODKEY=001E1 ADLM EULA COUNTRY=US InstallLevel=5
```

#### シングル ネットワーク ライセンス

<mediaDriveLetter>¥setup.exe /t /qb /language <lang> /c ACAD: INSTALLDIR="%programFiles%¥Autodesk¥AutoCAD 2013" ACADSERIALPREFIX=<SerialPrefix>ACADSERIALNUMBER=<SerialPostFix>

```
ADLM_PRODKEY=<ProdKey> ADLM_EULA_COUNTRY=<eula_lang>
InstallLevel=5
ACADSTANDALONENETWORKTYPE="3" ACADLICENSESERVERTYPE="Single
Server License"
ACADLICENSETYPE="Network License"
ACADSERVERPATH="<FlexLicenseServer> 00000000000"
```

#### 注:

ネットワークライセンスの場合、ACADSTANDALONENETWORKTYPE によっ てインストール中のライセンスのタイプが識別されます。これには、ネットワー クとスタンドアロンの両方の場合の0、スタンドアロンの場合の1、ネットワー クの場合の3の3つの値があります。

<FlexLicenseServer> は、ネットワーク ライセンス サーバです。

#### 分散ネットワーク ライセンス

<mediaDriveLetter>¥setup.exe /t /qb /language <lang> /c ACAD: INSTALLDIR="%programFiles%¥Autodesk¥AutoCAD 2013" ACADSERIALPREFIX=<SerialPrefix>ACADSERIALNUMBER=<SerialPostFix>

```
ADLM_PRODKEY=<ProdKey> ADLM_EULA_COUNTRY=<eula_lang>
InstallLevel=5
ACADSTANDALONENETWORKTYPE="3"
ACAD_LICENSESERVER_DISTRIBUTED="1"
ACADLICENSESERVERTYPE="Distributed Server License"
ACADLICENSETYPE="Network License"
ACADSERVERPATH="@<server1>;@<server2>;@<server3>;"
```

注:

<server1>から <serverN> までが、有効なネットワーク ライセンス サーバです。

#### 冗長ネットワーク ライセンス

```
<mediaDriveLetter>¥setup.exe /t /qb /language <lang> /c
ACAD: INSTALLDIR="%programFiles%¥Autodesk¥AutoCAD 2013"
ACADSERIALPREFIX=<SerialPrefix>ACADSERIALNUMBER=<SerialPostFix>
```

```
ADLM_PRODKEY=<ProdKey> ADLM_EULA_COUNTRY=<eula_lang>
InstallLevel=5
ACADSTANDALONENETWORKTYPE="3"
ACADLICENSESERVERTYPE="Redundant Server License"
ACADLICENSETYPE="Network License"
ACADSERVERPATH="<server1> 00000000000 27005;<server2>
00000000000 27005;<server3> 0000000000 27005;"
```

#### 注:

<server1>から<server3>までが、冗長ライセンスを持つ有効なネットワークラ イセンス サーバです。

### バッチ ファイルを実行する

バッチ ファイルを作成した後、ファイルをサーバ、ドライブ文字が割り当てら れたネットワーク ドライブ、UNC(universal naming convention)パスのいずれ かに移動します。バッチ ファイルをユーザが実行するためにサーバ上に配置す る場合は、サーバに共有フォルダを作成します。次に、ユーザに適切な権限を与 えて、ネットワーク共有にユーザを追加します。バッチ ファイルを実行するだ けのユーザには、共有フォルダに対する読み取りアクセス権が必要です。

次に、サーバの他の場所に、インストールする各製品のフォルダを作成します。 製品メディアからこのフォルダにインストレーションファイルをコピーします。

#### 16 | 第2章 代替配布法

Service Pack (Update)、拡張機能(Subscription Advantage Pack)、独自のカスタマイズ ツールなどのフォルダも必要に応じて作成します。

次のいずれかの方法を使用して、インストレーション バッチ ファイルを実行します。

- 個々のコンピュータで、バッチファイルを手動で実行します。インストレーションを実行するために、[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスにバッチファイル名を貼り付けるか、Windows コマンドプロンプトでバッチファイルを実行します。
- バッチ ファイルを実行する各ユーザに、UNC パスと必要な指示を記載した 電子メールを送信します。
- 各ユーザにバッチファイルと使用方法を電子メールで送ります。
- バッチ ファイルをログイン時に実行するようにセットアップします。

## グループポリシーを使用して配置を実行する

グループ ポリシーを使用して、コンピュータに配置を割り当てることで、プロ グラムをアドバタイズおよびインストールできます。コンピュータに割り当てら れた配置は、そのコンピュータの任意のユーザが使用できます。通常、複数の ユーザが共有するコンピュータに配置を割り当てます。

注:オートデスク製品は、コンピュータにインストールされ、そのコンピュータ にログオンした任意のユーザが製品を実行できるように設計されています。配置 をコンピュータにではなく、特定のユーザに割り当てた場合、2人目のユーザが プログラムをインストールまたはアンインストールしようとすると、問題が発生 することがあります。

グループ ポリシー使用の長所と短所の概要を次に示します。

#### 長所

- 配置機能と一緒に動作します。
- 配置にカスタム ファイルを追加できます。
- ユーザに配置するのではなく、コンピュータに配置します。

短所

- MSI 実行ファイルにコマンドラインパラメータを渡すことができません。代わりに、スクリプトを使用する必要があります。
- 配置を作成するときに設定した内容以外に、アプリケーションの設定をカス タマイズすることはできません。

通常、オートデスク製品には、オートデスク製品をサポートするためにコンピュータにインストールしなければならないソフトウェア要件があります。特に、
 Microsoft .NET Framework 4.0、Fusion、Fusion plug-in は、グループポリシーを使用する前にインストールしなければなりません。製品を配布する前に、
 各製品の「動作環境」を検討し、プログラムをインストールするコンピュータにそれらがインストールされていることを確認します。

グループ ポリシーを使用してのプログラムの配布には、次の3つの主要な段階 があります。

- 1 アプリケーション配布ポイント(管理イメージ)を作成します。 アプリケーション配布ポイントは、配置の作成時に作成されます。配置を作成するには、「新しい配置を作成する(9ページ)」を参照してください。
- 2 コンピュータに配置を割り当てます。詳細は、「グループポリシーを使用 してコンピュータに配置を割り当てる(18ページ)」を参照してください。
- 3 インストレーションを確認します。プログラムが正しくインストールされ ているか確認します。詳細は、「グループポリシー配置を確認する(22 ページ)」を参照してください。

## グループポリシーを使用してコンピュータに配置を 割り当てる

グループ ポリシー管理コンソール(GPMC)がインストールされていて、Active Directory サーバにアクセスできる Windows XP コンピュータ、Windows 2000 サーバ、Windows 2003 サーバから、次の手順を実行します。

注: 詳細は、*Microsoft TechNet* で "Group Policy Management Console" を検索 してください。 配置をコンピュータに割り当てるには

- 1 グループ ポリシー管理コンソール(*gpmc.msc*)を開始します。
- 2 グループポリシーオブジェクト(GPO)を作成する組織単位を右クリックします。次に、[GPOの作成およびリンク]を選択し、グループポリシーの名前を指定します。
- 3 ポリシーを編集します。
- 4 [グループ ポリシー オブジェクト エディタ]ダイアログ ボックスの[ソフトウェアの設定]ノードで、[ソフトウェアインストール]を右クリックし、[新規作成] ▶ [パッケージ]を選択します。
- 5 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、配置プロセスで作成した管理イメージの場所に移動します。AdminImage¥<プロセッサの種類>¥<製品名フォルダ>を指定します。プロセッサの種類は、配置で作成したプロセッサの種類に応じて、x86かx64のどちらかです。

#### 例

x86 配置の場合:

¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x86¥acad

x64 配置の場合:

¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x64¥acad

6 *acad-*<配置名>-.*msi*という名前の MSI (Windows Installer Packages)ファ イルを選択します。[開く]をクリックします。

配置の名前が "Design 2013 32 bit" の場合、配置の MSI ファイルの名前 は、acad-Design 2013 32 bit.msi となります。

- 7 [ソフトウェアの展開]ダイアログボックスで、[詳細設定]を選択し、[OK] をクリックします。
- 8 [プロパティ]ダイアログ ボックスの[変更]タブで、[追加]をクリックしま す。
- ワァイルを開く]ダイアログボックスで、acad-<deployment name>.mst という名前の Transform Package ファイルを選択します。[開く]をクリッ します。
- **10** [プロパティ]ダイアログ ボックスの[変更]タブで、[追加]をクリックしま す。

- [ファイルを開く]ダイアログボックスで、<deployment location>¥Tools に 移動し、gpo.mst という名前の Transform Package ファイルを選択しま す。
- 12 [OK]をクリックし、パッケージを完成させます。

#### Language Pack を追加する

製品が Language Pack(言語パック)を使用する場合、パッケージに言語パックを 追加する必要があります。

#### Language Pack(言語パック)を追加するには

- [グループ ポリシー オブジェクト エディタ]ダイアログ ボックスの、[ソフトウェアの設定]の下で、同じオブジェクトに対して[ソフトウェア インストール]を右クリックし、[新規作成] ▶ [パッケージ]をクリックします。
- [ファイルを開く]ダイアログボックスで、配置の作成時に指定した管理イメージの場所に移動します。AdminImage¥<プロセッサの種類>¥<地域 >¥acad¥acadlp.msiにナビゲートします。[開く]をクリッします。

<地域>は、たとえば米国英語には en-us が使用されます。

例

x86 配置の場合: ¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x86¥en-us¥acad

x64 配置の場合: ¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x64¥en-us¥acad

- 3 [ソフトウェアの展開]ダイアログボックスで、[詳細設定]を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 [<製品名>のプロパティ]ダイアログボックスの[変更]タブで、[追加]をク リックします。
- 5 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、AdminImage¥<プロセッサの種類>¥acad にある acad-<配置名>.mst という名前の Transform Package ファイルを選択します。 [開く]をクリッします。
- 6 [<製品名>のプロパティ]ダイアログボックスの[変更]タブで、[追加]をク リックします。

#### 20 | 第2章 代替配布法

- 7 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、<deployment location>¥Tools に 移動し、gpo.mst という名前の Transform Package ファイルを選択しま す。
- 8 [OK]をクリックし、パッケージを完成させます。

#### 製品固有のパッケージを追加するには

- [グループポリシーオブジェクトエディタ]ダイアログボックスの、[ソフトウェアの設定]の下で、同じオブジェクトに対して[ソフトウェアインストール]を右クリックし、[新規作成] ▶ [パッケージ]をクリックします。
- [ファイルを開く]ダイアログボックスで、配置の作成時に指定した管理イメージの場所に移動します。AdminImage¥<プロセッサの種類>¥<地域>¥acadps.msi にナビゲートします。[開く]をクリックします。
   この例で使用されている<地域>は、英語(アメリカ合衆国)を表す en-us です。

```
例
```

x86 配置の場合: ¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x86¥en-us¥acad

x64 配置の場合: ¥¥server123¥Deployment¥AdminImage¥x64¥en-us¥acad

- 3 [ソフトウェアの展開]ダイアログボックスで、[詳細設定]を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 [<製品名> のプロパティ]ダイアログ ボックスの[変更]タブで、[追加]をク リックします。
- 5 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、AdminImage¥<プロセッサの種類>¥acad にある acad-<配置名>.mst という名前の Transform Package ファイルを選択します。 [開く]をクリッします。
- 6 [<製品名>のプロパティ]ダイアログボックスの[変更]タブで、[追加]をク リックします。
- 7 [ファイルを開く]ダイアログボックスで、<deployment location>¥Tools に移動し、gpo.mstという名前のTransform Package ファイルを選択しま す。
- 8 [OK]をクリックし、パッケージを完成させます。

これで、作成した GPO の組織単位のメンバーになっているすべてのコンピュー タに、GPO が割り当てられました。組織単位内のコンピュータを次に再起動す ると、プログラムがインストールされ、コンピュータのすべてのユーザが使用可 能になります。グループポリシーが正しく作成されたことを確認するには、「グ ループポリシー配置を確認する (22 ページ)」を参照してください。

### グループ ポリシー配置を確認する

この配置が正しくコンピュータに割り当てられたことを確認するには、作成した グループ ポリシーの組織単位に含まれるコンピュータを再起動します。ログオ ン プロンプトが表示される前に、プログラムのインストールが開始されます。 オペレーティング システムによって、グループ ポリシー メッセージが表示され ます。これには、管理ソフトウェアのインストールを示すメッセージも含まれま す。

インストールを終了し、プログラムを開始するには、ログオン後、デスクトップ に表示されているプログラム アイコンをダブルクリックします。

**注:** 問題が発生した場合は、[イベント ビューア]の[アプリケーション]にイベントが記録されます。

## Microsoft SCCM を使用して製品を配置する

Microsoft System Center Configuration Manager(SCCM)を使用すると、選択 した適用先システムへのソフトウェアの配布を、リモート処理で管理できます。 このトピックの詳細は、*Microsoft TechNet* で "System Center Configuration Manager" を検索してください。

各配置には <deployment name>**¥**SMS\_SCCM scripts フォルダが含まれ、この フォルダには SCCM を使用して配置する際に役立つ 2 つのドキュメント SMS\_SCCM\_ReadMe.docx と <deployment name>\_SCCM.txt が含まれます。

**注:** SCCM を使用してオートデスク製品を配布する前に、それぞれの配布先コン ピュータに、Microsoft .NET Framework 4.0 がインストールされている必要が あります。

#### SCCM を使用してオートデスク製品を配置するには

- ソフトウェアパッケージを受け取るターゲットコンピュータのコレクションを特定するか作成します。
- インストーラの[配置を作成]プロセスを使用して、ソースフォルダを作成 します。詳細は、「SCCMのソースフォルダをセットアップする(23ページ)」を参照してください。
- 3 SCCM パッケージを作成してターゲットシステムに配置し、ソフトウェア パッケージが使用可能であることをユーザに通知します。詳細は、「SCCM ソフトウェア配布パッケージを作成する (24 ページ)」を参照してください。

**注:** SCCM による Windows XP への DirectX 9.0C の配布は、サポートされて いません。オートデスク製品を正常に実行するには、DirectX 9.0C を製品メディ ア(<メディア>¥3rdParty¥DirectX¥DXSETUP.exe)から手動でインストールする 必要があります。DirectX 9.0C のこのバージョンは、オートデスク製品で使用 するためにカスタマイズされています。

### SCCM のソース フォルダをセットアップする

オートデスク製品の配置にSCCMを使用するときは、インストーラの[配置を作成]プロセスを使用してソースフォルダをセットアップします。

[配置を作成]プロセスにより管理イメージが作成され、SCCMはこの管理イメージを使用して、オートデスク製品を目的のコンピュータに配布します。管理イメージの場所が、パッケージ ソース フォルダです。

オートデスク ソフトウェアの配置とソース フォルダの設定の詳細は、「概要 -配置 (1 ページ)」を参照してください。

注: SCCMを環境設定して製品を配置する前に、配置をテストし、製品が正常に インストールできるか確認することをお勧めします。

#### 配置をテストするには

- **1** 管理者権限を持つユーザとして、Windows コンピュータにログオンします。
- 2 管理イメージが作成されたソース フォルダに移動します。

#### 代替配布法 | 23

 配置プロセスによって作成された配置のショートカットをダブルクリック します。 プログラムがインストールされるか、エラー情報が %temp% のログ ファ イルに書き出されます。

## SCCM ソフトウェア配布パッケージを作成する

配置プロセスを使用してソースフォルダを作成した後、SCCM ソフトウェア配 布パッケージを作成します。SCCM パッケージには、ソフトウェアを配布した り、ユーザにパッケージをアドバタイズするためのファイルと命令が含まれま す。配置プロセスで独自のファイルと命令が作成されますが、SCCMは、SCCM の配布用ファイルを使用するように環境設定する必要があります。

#### SCCM を使用してソフトウェア配布パッケージを作成するには

- 【スタート】メニュー ➤ [プログラム]または[すべてのプログラム] ➤
   [Microsoft System Center] ➤ [Configuration Manager 2007] ➤
   [ConfigMgr Console]を選択します。
- **2** [Configuration Manager Console]ウィンドウで、[Software Distribution] を展開します。
- 3 [Packages]を右クリック ➤ [Distribute] ➤ [Software]を選択します。
- 4 [Distribute Software]ウィザードで、[Next]をクリックします。
- **5** [Package]ダイアログ ボックスで、[Create a New Package and Program without a Definition File]を選択します。[Next]をクリックします。
- 6 [Package Identification]ダイアログボックスで、名前、バージョン、配布 者、言語、任意のコメントなどの情報を入力します。[Next]をクリックし ます。
- 7 [Source Files]ダイアログボックスで、SCCM がファイルを取得する場所 と、それらの管理方法を選択します。[Always Obtain Files from a Source Directory]を選択します。[Next]をクリックします。
- **8** [Source Directory]ダイアログボックスで、ソースフォルダの場所を指定 します。[Next]をクリックします。
- 9 [Distribution Points]ダイアログボックスで、配布ポイントを選択します。
   これは、ターゲットコンピュータに配置するソフトウェアパッケージの場所です。[Next]をクリックします。

 [Program Identification]ダイアログボックスで、プログラムの名前を入力 します。これは、[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]に表 示される名前です。[Command Line]フィールドに、
 ¥AdminImage¥setup.exe /W /Q /I ¥AdminImage¥<deployment name>.ini /language ja-JP と入力します。たとえば、配置の名前が Adsk-2012 の場 合、¥AdminImage¥setup.exe /W /Q /I ¥AdminImage¥Adsk-2012.ini /language ja-JP と入力します。[Next]をクリックします。

注: この例では、インストールする言語パックは日本語(JA Japanese)で す。/WはSMSおよびSCCMのフラグ、/Qはサイレントインストール、/I は配置インストレーションを示します。

- 11 [Program Properties]ダイアログボックスの[Program Can Run]ドロップ ダウンリストで、プログラムのインストール方法を選択します。次のいず れかを選択します。
  - Only When a User is Logged On
  - Whether or Not a User is Logged On
  - Only When No User is Logged On
- **12** [After Running]ドロップダウンリストで、プログラムがインストールされた後に必要な動作を選択します。次のいずれかを選択します。
  - No Action Required
  - Program Restarts Computer
  - ConfigMgr Restarts Computer
  - ConfigMgr Logs User Off

注: 一部の製品は、インストール後にシステムを再起動する必要がありま す。

[Next]をクリックします。

- **13** [Advertise Program]ダイアログボックスで、[Yes]を選択してプログラム をユーザにアドバタイズします。[Next]をクリックします。
- **14** [Select a Program to Advertise]ダイアログボックスで、アドバタイズする パッケージを選択します。[Next]をクリックします。
- 15 [Select Program] ➤ [Advertisement Target]ダイアログボックスで、アド バタイズするユーザのコレクションを選択するか、新しいコレクションを 作成します。

- 16 [Select Program] ➤ [Advertisement Name]ダイアログボックスで、アド バタイズの名前を入力、または変更します。アドバタイズを説明するため の任意のコメントを記入します。[Next]をクリックします。
- **17** [Select Program] ▶ [Advertisement Subcollection]ダイアログ ボックス で、次のオプションのいずれかを選択します。
  - Advertise this Program to an Existing Collection
  - Create a New Collection and Advertise this Program to It
- 18 [Next]をクリックします。
- [Select Program] ➤ [Advertisement Schedule]ダイアログボックスで、 必要に応じて、指定した日時にプログラムをアドバタイズするオプション を設定したり、期限を設定します。[Next]をクリックします。
- **20** [Select Program] ➤ [Assign Program]ダイアログ ボックスで、次のオプ ションのいずれかを選択します。
  - インストレーション プロセスが必須の場合は、[Yes, Assign the Program]を選択します。
  - インストレーションプロセスが省略可能の場合は、[No, Do Not Assign the Program]を選択します。

[Next]をクリックします。

**21** [Summary]ダイアログボックスで、アドバタイズ情報を確認します。訂正 するには、[Back]ボタンを使用します。[Next]をクリックして完了します。

## ディスクイメージ作成ソフトウェアを使用し て製品を配布する

Norton Ghost などのディスク イメージ作成ソフトウェアを使用してマスター イメージを作成し、オートデスク製品を配布できます。マスター イメージを作 成したら、ユーザの責任で他のコンピュータに移し替えることができます。

**重要:** オートデスクは、ディスクイメージ作成ソフトウェアを使用した製品の配 布をお勧めしません(サポートの対象ではありません)。しかし、この方法で配布 を予定している場合は、以下の説明を注意深くお読みください。

ディスク イメージ作成ソフトウェアを使用すると、製品のライセンスに矛盾が 生じたり、インストールが不完全に終了したり、アクティベーションで問題が発 生することがあります。

#### 26 | 第2章 代替配布法

注: SATA RAID 環境でライセンスが不安定になったことがある場合、ディスク イメージ作成ソフトウェアを使用してオートデスク製品を配布すると、製品をア クティベーションするときに、たとえば「アクティベーション コードが制限を 超える」という問題が発生する可能性があります。

## マルチシート スタンドアロン製品を配布する

マスター イメージを使用してマルチシート スタンドアロン製品を複数のコン ピュータに配布できます。

**注:** Norton Ghost を使用する場合は、*-ib*スイッチを使用して、作成するマス ター イメージにブート セクタを含める必要があります。ブート セクタをマス ター イメージの一部に含める方法についての詳細は、ご使用のディスク イメー ジ作成ソフトウェアを参照してください。

マスターコンピュータで一度でもオートデスク製品を実行した場合は、マスター イメージを作成しないでください。システムのクリーンアップが必要です。詳細 は、「マスターコンピュータをクリーンアップしてオペレーティングシステム を復元する (29 ページ)」を参照してください。

#### マスター イメージを使用して、マルチシート スタンドアロン製品を複数のコン ピュータに配布するには

- 1 マルチシートスタンドアロン製品に対するネットワーク配置を作成します。詳細は、「新しい配置を作成する(9ページ)」を参照してください。
- 配置からマスター コンピュータにオートデスク製品をインストールします。
- 3 マスターコンピュータで、ブートセクタを含むマスターイメージを作成します。製品を配布する前に、マスターコンピュータ以外のコンピュータで製品をテストします。他のコンピュータで製品を起動し、次に登録とアクティベーションを行います。ユーザは製品の登録およびアクティベーションに対して試用期間があります。
- 4 マスターイメージを目標のコンピュータに適用します。

### ネットワークライセンス製品を配布する

マスターイメージを使用して、ネットワーク ライセンス製品を配布できます。

マスター イメージを使用してネットワーク ライセンス製品を複数のコンピュー タに配布するには

- ネットワークライセンス製品に対するネットワーク配置を作成します。詳細は、「新しい配置を作成する (9ページ)」を参照してください。
- **2** 配置からマスター コンピュータに製品をインストールします。

**注:** 製品がライセンスを取得するには、ライセンス サーバが実行され、各 コンピュータがネットワークに接続されていなければなりません。

- 3 製品をインストールした後、ディスクイメージ作成ソフトウェアを使用して、コンピュータのハードドライブのマスターイメージを作成します。
- 4 マスターイメージを目標のコンピュータに適用します。

#### マスター イメージを復元する

次の手順は、コンピュータを再フォーマットする前に、各コンピュータの AdLM フォルダ(および、存在する場合は Product Licenses フォルダ)のコピーが、他 のコンピュータまたはディスクに保存されていることを前提としています。

#### マスター イメージを使用して製品を復元するには

- **1** アプリケーションを終了します。ここに示す手順が完了するまで、アプリ ケーションを再実行しないでください。
- 2 Windows エクスプローラで、*AdLM*フォルダを、次に示すパスから、復元するディスク以外の場所にコピーします(Windows XP の例)。

#### C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥FLEXnet

3 コンピュータを再フォーマットし、マスター イメージを復元します。

注: ハード ドライブの簡易フォーマットは実行しないでください。

4 手順2で作成した AdLM フォルダを、再フォーマットしたコンピュータの 元の場所にコピーします。

#### 28 | 第2章 代替配布法

注: ディスクイメージを復元すると、変更されたすべてのファイルが元の状態に 戻され、再び使用することができるようになります。ライセンス ファイルは保 護され、製品のアクティベーションを再度行う必要はありません。

## マスター コンピュータをクリーンアップしてオペ レーティング システムを復元する

マスターコンピュータでオートデスク製品を既に実行している場合は、マスター イメージを作成する前に、マスターコンピュータを完全にクリーンアップする 必要があります。

#### マスター コンピュータをクリーンアップし、オペレーティング システムを復元 するには

**1** ブート セクタを含め、ハード ドライブをクリーンアップします。

たとえば、NortonのGDISKユーティリティを使用している場合は、次の コマンドを使用します。

#### gdisk 1 /diskwipe

ここで、1はクリーンアップするハードディスクです。

**注:** Norton Ghost 以外のユーティリティを使用する場合は、必ずブート セクタもクリーンアップしてください。さもないと、オートデスク製品を アクティベーションできなくなります。

2 新しいパーティションを作成し、復元用ディスクまたは製品メディアを使用して、オペレーティングシステムをインストールします。

## インストールのトラブル シューティング

# 3

## インストールに関する質問

このセクションでは、インストールと配置に関するよくある質問を紹介します。 その他のアドバイスとサポートについては、オートデスクサポート にアクセス し、製品名を選択してから、製品のナレッジベースで検索してください。

## ライセンスの疑問

## スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセン スの違いは何ですか?

スタンドアロン ライセンスは、個々のユーザに対して1つまたは複数のオートデ スク製品をサポートします。同様に、マルチシート スタンドアロン ライセンス は、一定数のユーザをサポートします。ソフトウェアを複数のコンピュータにイ ンストールできますが、ライセンスされたユーザ数を超えることはできません。

ネットワーク ライセンスは、ネットワークに接続されたユーザの指定された最大 数をサポートします。ソフトウェア ユーティリティの Network License Manager(NLM)が、購入ライセンスの最大数までユーザにライセンスを発行しま す。現時点では、購入ライセンス数を超えるコンピュータでは、ライセンスが NLM に返却されるまではオートデスク製品を実行できません。

## ネットワーク ライセンス バージョンのソフトウェ アを使用するメリットは何ですか?

大きな製図/設計組織や教室など多数のユーザをサポートする必要がある環境で は、ネットワーク ライセンスを使用すると、ライセンスの管理が容易になりま す。Network License Manager でライセンスの登録、アクティベーション、ユー ザへの配布など、ライセンスを集中的に管理できます。ネットワーク ライセン スの主な利点の1つは、購入したライセンス数以上のコンピュータに製品をイ ンストールできることです。たとえば、25 のライセンスを購入し、利便性をよ くするために40台のコンピュータにインストールできます。製品は、購入した ライセンス数分のコンピュータで同時に実行できます。つまり、本格的なフロー ティング ライセンスとして使用できます。また、ネットワーク ライセンス シス テムでは、ユーザは有効期間中であれば、ネットワークに接続していないコン ピュータでライセンスを借用して使用できるように環境設定することもできま す。

#### SAMreport-Lite とは何ですか?

SAMreport-Lite は、FLEXnet を使用する製品のネットワーク ライセンスの使 用状態をモニタするためのレポート作成ソフトウェアです。SAMreport-Lite は オートデスク製品とともに配布されませんが、オートデスクから入手できます。 SAMreport-Lite を使用すると、ソフトウェア ライセンスの管理に役立ちます。 詳細は、SAMreport-Lite を参照してください。

## 配置とネットワークの疑問

#### 配置はどこに格納すればよろしいですか?

配置を格納するシステムのデスクトップに **Deployments** という名前のネット ワーク共有フォルダを作成することをお勧めします。共有フォルダを作成した ら、製品の配置を反映したサブフォルダ名を追加することができます。同じ製品 またはスイート製品の複数の配置を作成し、異なるユーザ グループ用に環境設 定する場合、これらの配置は同じ管理イメージを共有でき、ショートカットは同

#### 32 | 第3章 インストールのトラブルシューティング

じフォルダに置くことができます。共有フォルダ内のサブフォルダは、すべて自動的に共有フォルダになります。

ネットワーク共有の詳細は、「ネットワーク共有を作成する(8ページ)」を参照してください。

## 管理イメージに対して、どの時点ですべての製品を 選択すればよいですか?また、後で製品を追加でき ますか?

すべての製品を配置に含めると、管理イメージが大きくなりますが、配置の修正 や新しい配置の作成について制限がなくなります。[この配置環境設定に必要な 製品のみを含める]チェックボックスをオンにすると、配置には使用可能な製品 のサブセットが含まれるようになります。この配置に対する修正や、最初の配置 に基づく追加の配置は、同じ製品セット以下に制限されます。

異なる製品を含むこの管理イメージから複数の配置を作成する予定があり、再度 インストレーションメディアを使用したくない場合は、選択可能なすべての製 品を含めることをお勧めします。決して使用しない製品があるか、追加の配置を 作成する予定がない場合は、製品のサブセットを選択してください。

後日、別の配置を作成して追加の製品を含めることはできますが、これを行うに は、インストレーション メディアから新しい管理イメージを作成する必要があ ります。

## ユーザのコンピュータの設定に関連付けられるプロ ファイルとは何ですか?

プロファイルは、[オプション]ダイアログボックスの[プロファイル]タブで作成 されます。プロファイルには、図面ベースのシステム変数だけではなく、ほとん どすべての環境設定が含まれます。たとえば、サポートパス、グリップ設定、 印刷設定などが含まれます。

配置プロセス中に[ユーザ設定]領域でプロファイルを指定すると、その配置を使 用して製品をインストールするすべてのコンピュータの標準の環境設定になりま す。

#### インストールに関する質問 | 33

## Service Pack を追加したり合成するとどうなりますか?

Service Pack を追加すると、Service Pack は現在の配置にのみ適用されます。 Service Pack ファイルは配置に含まれており、Service Pack は製品が配置されて から適用されます。

Service Pack を合成すると、Service Pack は管理イメージに合成されます。いったん合成すると、Service Pack を管理イメージから除外できなくなります。

配置の作成時に、製品の環境設定パネルから Service Pack を追加または合成できます。

## Service Pack が自分のソフトウェアで利用できるか どうかを確認するにはどうしたらよろしいですか?

パッチまたは Service Pack が使用可能かどうかを確認するには、 http://www.autodesk.co.jp/support にアクセスします。

## MSP ファイルはどうやって解凍するのですか?

このトピックは、Windows プラットフォームにのみ該当します。Microsoft パッ チ(MSP)ファイルは、通常、ご使用の製品のサポートWeb サイトからダウンロー ドできる実行可能形式の Service Pack に含まれています。実行ファイルから、 MSP ファイルを解凍するには、/e スイッチを使用して Windows コマンド プロ ンプトから、パッチ プログラムを実行します。 構文は次のとおりです。

<ローカル\_ドライブ:>¥<パッチ名>.exe /e <ローカル\_ドライブ:>¥<パッチ名>.msp

ファイルが解凍される場所に注意してください。パッチ ファイルを使用する方 法については、パッチの *Readme* ファイルを参照してください。

#### 34 | 第3章 インストールのトラブルシューティング

## ファイアウォールに対して、ネットワークのライセンスをどのように環境設定すればよろしいですか?

ライセンス サーバとクライアント コンピュータの間にファイアウォールが存在 する場合は、ライセンス関連の通信のために、いくつかの TCP/IP ポートを開く 必要があります。*adskflex* のためにポート 2080 を、*lmgrd* のためにポート 27000 から 27009 を開いてください。

## アンインストールとメンテナンスの疑問

## どうすれば、既定のインストレーションの内容を確認できますか?

既定のインストレーションでインストールされる内容を確認するには、製品の [環境設定]ページまでインストール手順を進めます。そこで選択されている製品 が、既定のインストレーションでインストールされます。選択した製品ボックス をクリックして環境設定パネルを開くと、サブコンポーネントと機能の既定の設 定を確認できます。

## 機能を追加または削除するときに、インストレーションフォルダを変更できますか?

製品をインストールした後は、インストレーションパスを変更することはできません。機能を追加するときにパスを変更すると、プログラムが破損することがあるので、変更はできません。

インストールに関する質問 | 35

## どうすれば、製品をインストールした後に、ツール とユーティリティをインストールできますかD

製品メディアから再度インストーラを実行し、最初の画面で[ツールとユーティ リティ]をクリックします。インストーラで、ツールとユーティリティの選択、 環境設定、インストールを行います。

## 製品を修復するのではなく再インストールするのは どんなときですか?

プログラムで必要なファイルを誤って削除したり変更した場合に、製品を再イン ストールします。失われたファイルや変更されたファイルは、製品のパフォーマ ンスに悪影響を与えます。また、コマンドの実行やファイルの検索を試みたとき にエラー メッセージが表示される原因になります。

インストールの修復に失敗した場合は、次善の策として再インストールがありま す。

## 製品を再インストールする場合、製品メディアは必要ですか?

はい。製品を再インストールするときに、製品メディアを挿入するように求めら れます。製品がネットワーク配置からインストールされた場合は、後で Service Pack が追加されるなどして変更されたものではない元の配置にアクセスする必 要があります。

## ソフトウェアをアンインストールするとき、システ ムにはどのようなファイルが残りますか?

製品をアンインストールすると、作成または編集したファイル(たとえば、図面 やカスタム メニュー)など、一部のファイルがコンピュータに残ります。

#### 36 | 第3章 インストールのトラブルシューティング

また、ライセンスファイルもコンピュータに残ります。同じコンピュータに再 インストールする場合、ライセンス情報は有効なままなので、再度製品のアク ティベーションを行う必要はありません。

インストールに関する質問 | 37

## 用語集

**アクティベーション** オートデスク ソフトウェア登録手続きの一部で、これにより、製品のエン ドユーザ ライセンス使用許諾同意書に基づいて製品を実行することが許可されます。

管理イメージ 配置プロセスにより作成された共有ファイル リソースのコレクションで、プログ ラムをネットワーク コンピュータにインストールするために使用されます。

**配置** ネットワーク上の1つまたは複数のコンピュータにオートデスク製品をインストールする 処理。

**ホット フィックス** 少数のコード修正を含むマイナーなアプリケーション パッチに対するオート デスク用語。

**インストレーション イメージ**1 つまたは複数の MSI ファイルとその関連データ ファイル、関連 するトランスフォーム、追加のユーザ固有のカスタム ファイル、プロファイル、レジストリ設定 からなる配置。

**言語パック**インストールされるファイルのセットで、一部のオートデスク製品で使用されます。 ユーザは言語パックで指定された言語を使用して、アプリケーションで作業できるようになりま す。

**言語ファミリ**通常は地理的な分類に基づいて、一緒に配布される言語のセット(中核製品と言語 パック)。すべてのオートデスク製品についてこの方法で言語が配布されるわけではありません。

**ライセンス転送ユーティリティ**オートデスク・サーバを使用して、コンピュータ間でオートデス ク製品のスタンドアロン ライセンスの転送に使用されるツール。転送元と転送先のコンピュー タの両方でインターネット接続が必要です。

マルチシート スタンドアロン インストレーション 1 つのシリアル番号を使用して、製品の複数 のスタンドアロン シートをインストールするインストレーション。

**ネットワーク ライセンス インストレーション** 複数のコンピュータに製品をインストールし、ラ イセンスの配布は Network License Manager で処理されるインストレーション。

パッチ アプリケーションを更新するソフトウェア。

Service Pack 一般に多数のコード修正を含む重要なアプリケーション パッチに対するオート デスク用語。

**サイレント モード** 一切のユーザ入力が不要なインストール。ユーザの関与を必要とするダイ アログ ボックスはまったく表示されません。

40 | 第4章 用語集

## 索引

## D

DirectX 9.0C

#### Μ

Microsoft Installer Patch ファイル Microsoft System Center Configuration Manager MSP ファイル

## Ν

Norton Ghost

### S

SAMreport-Lite SATA RAID 環境 SCCM (System Center Configuration Manager) SCCM パッケージ

#### あ

アドバタイズ, 配置を アンインストール, 製品を

#### い

インストレーション アドバタイズ, 配置を 確認, 配置を カスタマイズ 既定の設定 グループ ポリシー サービス パック 修復, 破損したインストレーションを

#### 種類

ソフトウェアの配置 ツールとユーティリティ ディスク イメージ作成ソフトウェア ネットワーク配置 バッチ ファイル 復元, オペレーティング システム インストレーション パス, 変更

#### お

オペレーティング システム 復元

#### か

確認, グループ ポリシー配置を カスタマイズした配置 環境設定 既定の 管理イメージ ショートカット

#### き

既定のインストレーション

#### <

クライアント コンピュータ 確認, 配置を 復元, マスター システム 割り当て, 配置を クリーンアップ, ハードディスク グループ ポリシー 確認, 配置を グループ ポリシー オブジェクト(GPO)

#### け

言語パック,追加

#### さ

サービス パック 再インストール, 製品を

#### し

実行, バッチ ファイルを 冗長ライセンス サーバ モデル ショートカット, 管理イメージの シングル ライセンス サーバ モデル

#### す

スタンドアロン インストレーション 選択 ディスク イメージ作成ソフトウェア と バッチ ファイル スタンドアロン ライセンス

## そ

ソース フォルダ, SCCM の

#### つ

ツールとユーティリティ,インストール

#### τ

ディスク イメージ作成ソフトウェア配置

#### な

ナレッジベース

#### ね

ネットワーク インストレーション グループ ポリシー 種類 ディスクイメージ作成ソフトウェア配 置 配置 バッチ ファイル ネットワーク共有 作成 場所 ネットワーク ライセンス 使用レポート ネットワーク ライセンス インストレーショ ン 選択 ディスクイメージ作成ソフトウェア配 置 ファイアウォール

#### は

ハードディスク,クリーンアップ 配置 概要 確認, インストレーションを カスタマイズした グループ ポリシー 作成 修正 チェックリスト ディスク イメージ作成ソフトウェア 配分 バッチ ファイル フォルダの場所 方法 問題 割り当て バッチ ファイル サンプル 実行

#### 42 | 索引

配置, プログラムを

#### ふ

ファイアウォールとライセンス サーバ 復元 オペレーティング システム 破損したインストレーションを プロファイル,ユーザ 分散ライセンス サーバ モデル

#### ま

マスター イメージ マスター システム マルチシートスタンドアロンインストレー 割り当て, 配置を ション

#### Ø

ユーザ プロファイルの設定

### よ

用語集

## 6

ライセンス サーバ モデル ライセンスの種類

#### わ